

平成24年4月2日

電気通信学部関係学生各位

教務課学部教務係

電気通信学部1・2・3年次開講科目の再履修について（通知）

平成22年4月に電気通信学部が改組され、情報理工学部となりました。電気通信学部学生は、原則として、卒業するまで入学時に配付した学修要覧に記載されているカリキュラム表に従い授業を履修することになりますが、正規の開講学期を過ぎた授業科目については、順次閉講していくこととなります。

このため、再履修を要する学生や休学等により授業を履修できなかった学生が、これらの正規の開講学期を過ぎた授業科目を履修する場合は、下記により履修してください。

記

平成24年度に電気通信学部1・2・3年次開講科目を履修する場合は、下記によること。

1. 電気通信学部学生用として開設される「再履修クラス」の授業を履修する。
(該当科目は電気通信学部1・2・3年次時間割に掲載)
2. 情報理工学部で開設される授業を「読替科目」として履修する。
(例) 昼間コース専門基礎科目「化学構造論」(2単位 1学期)を再履修する場合は、読替え等対応科目である情報理工学部昼間コース「化学概論」(2単位 1学期)を履修する。この場合、単位を修得した場合は、「化学構造論」の単位として成績がつくことになる。
(情報理工学1・2・3年次時間割で対応科目の曜日・時限を確認すること。)

なお、夜間主コースの一部科目で、電気通信学部昼間コース科目を読替科目とする科目がある。その場合は、電気通信学部の時間割を確認すること。

3. 「再履修科目」及び「読替科目」は、別紙「平成24年度電気通信学部 読替等科目等対応表」で確認すること。
4. 注意事項
読替科目として、2科目が設定されている科目がある。この場合、いずれかの科目を選択して履修すること。仮に読替科目が前学期と後学期に設定されている場合でも、同一年度に履修できるのは1科目のみ。前学期に履修して不合格だった場合に、後学期開講の読替科目を再履修することはできないので注意すること。

不明な点は、教務課学部教務係（1番窓口）で確認してください。

平成24年4月25日

電気通信学部
学生各位

教務課学部教務係

読替等対応科目の履修上の注意事項について

「読替科目等対応表」により履修する場合には、下記の事項に注意して履修をしてください。

記

1. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム（旧カリキュラム）表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。

2. 旧学科の科目によっては、複数の読替等対応科目が設定されており、開講学期が前学期と後学期に異なっている場合がある。この場合いずれか一方を選択して受講すること。同一年度に履修できるのはいずれか1科目のみとなる。前学期に履修して不合格だった場合に、後学期の読替等対応科目を再履修することはできない。

例) 昼間コース専門基礎科目旧科目名「波動と光」

読替等対応科目 | 学科「波動と光」(3学期)

S学科「波動と光」(4学期)

前学期に|学科科目で履修し不合格だった場合に、後学期にS学科で再履修することはできない。

3. 同一の読替等対応科目が、複数の旧学科科目の読替として設定されている場合には、旧学科科目は1科目しか履修することができない。

例) 夜間主コース専門共通科目

旧科目名「制御工学」の読替等対応科目は、K課程「制御工学」となっている。

一方、旧MTHの学科選択科目「システム工学」の読替科目もK課程「制御工学」となっている。

この場合、専門共通科目の「制御工学」と学科選択科目の「システム工学」は読替等対応科目が同一科目のため、両方を履修することはできない。

平成24年度

電気通信学部 読替科目等対応表
(昼間コース)

平成24年4月
(改訂版)

平成24年度 電気通信学部 読替科目等対応表(昼間コース)

[平成24年4月1日]

総合文化科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修クラス	読替科目(情報理工学部)			備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数		
人文・社会科学科目		# 哲学A	2	○		共通	哲学A	2	3	
		# 哲学B	2	○			哲学B	2	4	
		# 倫理学A	2	○			倫理学A	2	3	
		# 倫理学B	2	○			倫理学B	2	4	
		# 心理学A	2	○			心理学A	2	3	
		# 心理学B	2	○			心理学B	2	4	
		# 歴史学A	2	○			歴史学A	2	3	
		# 歴史学B	2	○			歴史学B	2	4	
		# 科学史A	2	○			科学史A	2	3	
		# 科学史B	2	○			科学史B	2	4	
		# 文学A	2	○			文学A	2	3	
		# 文学B	2	○			文学B	2	4	
		# 美術A	2	○			美術A	2	3	
		# 美術B	2	○			美術B	2	4	
		# 音楽A	2	○			音楽A	2	3	
		# 音楽B	2	○			音楽B	2	4	
		# 経済学A	2	○			経済学A	2	3	
		# 経済学B	2	○			経済学B	2	4	
		# 社会学A	2	○			社会学A	2	3	
		# 社会学B	2	○			社会学B	2	4	
		# 法学A	2	○			法学A	2	3	
		# 法学B	2	○			法学B	2	4	
		# 政治学A	2	○			政治学A	2	3	
		# 政治学B	2	○			政治学B	2	4	
		# 地理学A	2	○			地理学A	2	3	
		# 地理学B	2	○			地理学B	2	4	
		# 社会思想史A	2	○			社会思想史A	2	3	
		# 社会思想史B	2	○			社会思想史B	2	4	
	# 文化人類学A	2	○		文化人類学A	2	3			
	# 文化人類学B	2	○		文化人類学B	2	4			
	# 文章表現法	2	○		文章表現法	2	3			
	# 技術史	2	○		技術史	2	3			
言語	言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1	◎		共通	Academic Written English I	1	1	
		Academic Spoken English I	1	◎			Academic Spoken English I	1	1	
		Academic Written English II	1	◎			Academic Written English II	1	2	
		Academic Spoken English II	1	◎			Academic Spoken English II	1	2	
言語文化応用科目I	Academic English for the Second Year I	1	◎		共通	Academic English for the Second Year I	1	3		
	Academic English for the Second Year II	1	◎			Academic English for the Second Year II	1	4		
文化	言語文化基礎科目II	独語第一	1	○		共通	独語第一(再履)	1	3	
		独語第二	1	○			独語第二(再履)	1	4	
		仏語第一	1	○			仏語第一(再履)	1	3	
		仏語第二	1	○			仏語第二(再履)	1	4	
		露語第一	1	○			露語第一(再履)	1	3	
		露語第二	1	○			露語第二(再履)	1	4	
		中国語第一	1	○			中国語第一(再履)	1	3	
		中国語第二	1	○			中国語第二(再履)	1	4	
		韓国朝鮮語第一	1	○			韓国朝鮮語第一(再履)	1	3	
		韓国朝鮮語第二	1	○			韓国朝鮮語第二(再履)	1	4	
科目	言語文化応用科目II	選択独語第一	1			共通	選択独語第一	1	1	
		選択独語第二	1				選択独語第二	1	2	
		選択仏語第一	1				選択仏語第一	1	1	
		選択仏語第二	1				選択仏語第二	1	2	
		選択露語第一	1				選択露語第一	1	1	
		選択露語第二	1				選択露語第二	1	2	
		選択中国語第一	1				選択中国語第一	1	1	
		選択中国語第二	1				選択中国語第二	1	2	
		選択韓国朝鮮語第一	1				選択韓国朝鮮語第一	1	1	
		選択韓国朝鮮語第二	1				選択韓国朝鮮語第二	1	2	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

総合文化科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修クラス	読替科目(情報理工学部)			備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数		
言語文化科目	言語文化演習科目	英語演習	2	○		共通	英語演習	2	3又は4	
		独語演習	2	○			独語演習	2	3	
		独語運用演習	2	○			独語運用演習	2	4	
		仏語演習	2	○			仏語演習	2	3	
		仏語運用演習	2	○			仏語運用演習	2	4	
		露語演習	2	○			露語演習	2	3	
		露語運用演習	2	○			露語運用演習	2	4	
		中国語演習	2	○			中国語演習	2	3	
		中国語運用演習	2	○			中国語運用演習	2	4	
		韓国朝鮮語演習	2	○			韓国朝鮮語演習	2	3	
		韓国朝鮮語運用演習	2	○			韓国朝鮮語運用演習	2	4	
		日本語演習	2	○			日本語演習	2	4	
		国際文化演習	2	○			国際文化演習	2	4	
		言語表現演習	2	○			言語表現演習	2	3	
日本語・日本文化科目	日本語	日本語第一	2	◎		共通	日本語第一	2	1	
		日本語第二	2	◎			日本語第二	2	2	
		日本語第三	2	◎			日本語第三	2	3	
	日本文化科目	日本文化A	2	○		共通	日本文化A	2	1	
		日本文化B	2	○			日本文化B	2	2	
		日本文化C	2	○			日本文化C	2	3	
		日本文化D	2	○			日本文化D	2	4	
		日本文化E	2	○			日本文化E	2	3	
	健康・スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1	◎		共通	健康・体力づくり実習	1	1・2	
		健康論	1	◎			健康論	1	2	
生涯スポーツ演習A		1	○		生涯スポーツ演習A		1	3		
生涯スポーツ演習B		1	○		生涯スポーツ演習B		1	4		
生涯スポーツ演習C		1	○		生涯スポーツ演習C		1	夏季集中		
生涯スポーツ演習D		1	○		生涯スポーツ演習D		1	冬季集中		
理工系教養科目	宇宙・地球科学	2	○	●				2	再履修クラスを受講のこと。	
	生物学	2	○		共通	生物学	2	2		
	# 化学とエネルギー	2	○		共通	化学とエネルギー	2	3		
	材料化学	2	○		共通	材料化学	2	2		
	論理学	2	○		共通	現代数学入門A	2	3	論理学と現代数学入門Aは、読替科目が同一科目となるため、いずれか1科目のみ履修可能。	
	現代数学入門A	2	○		共通	現代数学入門A	2	3		
	現代数学入門B	2	○		共通	現代数学入門B	2	3		
国際科目	# (G) UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	2	○		共通	(G) UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	2	1		
	# (G) UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	2	○			(G) UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	2	2		
	# (G) UEC Academic Skills IIA (Cross-cultural Communication)	2	○			(G) UEC Academic Skills IIA (Cross-cultural Communication)	2	1		
	# (G) UEC Academic Skills IIB (Cross-cultural Communication)	2	○			(G) UEC Academic Skills IIB (Cross-cultural Communication)	2	2		

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
- 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

専門基礎科目(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
						開講学科	新学科科目名	単位数			
専門基礎科目		微分積分学第一	2	(必修・選択の別は学科により異なるので、学修要覧を参照のこと。)		共通	微分積分学第一	2	1		
		微分積分学第二	2			共通	微分積分学第二	2	2		
		線形代数学第一	2			共通	線形代数学第一	2	1		
		線形代数学第二	2			共通	線形代数学第二	2	2		
		解析学	2			共通	解析学	2	2		
		力学第一	2			共通	物理学概論第一(再履)	2	3	読替科目(再履修者対象クラス)を受講のこと。	
		力学第一演習	1		●					1	再履修クラスを受講のこと。
		力学第二	2			新M	力学および演習	3	3		
		力学第二演習	1		●					2	再履修クラスを受講のこと。
		力学概論	2			共通	物理学概論第一(再履)	2	3	読替科目(再履修者対象クラス)を受講のこと。	
		基礎科学実験A	2		●					1	1学期6・7時限に開講 履修方法は、物理教室の指示に従うこと。
		基礎科学実験B	2			共通	基礎科学実験B	2	1又は2	履修方法は、化学教室の指示に従うこと。	
		コンピュータリテラシー	2			共通	コンピュータリテラシー	2	1		
		基礎プログラミングおよび演習	2			共通	基礎プログラミングおよび演習	2	2		
		数学演習第一	1			共通	数学演習第一	1	1		
		数学演習第二	1			共通	数学演習第二	1	2		
		電磁気学概論	2		●					4	H24年度は4学期にのみ開講
		熱物理学	2			S	化学熱力学	2	3		
		波動と光	2			I	波動と光	2	3	(注意) I学科(3学期)又はS学科(4学期)のいずれかを選択して受講することができる。ただし、同一年度に履修できるのはいずれか1科目のみ。前学期にI学科で履修し不合格だった場合に、後学期にS学科で再履修することはできない。	
					S	波動と光	2	4			
		化学構造論	2			共通	化学概論	2	1		
		化学平衡論	2		●					2	再履修クラスを受講のこと。
	現代物理学	2		共通	物理学概論第三	2	3				
	サイエンス工房	2							開講せず。		
	※物理学入門第一	2							開講せず。		
	※物理学入門第二	2							開講せず。		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.1 情報通信工学科(昼間コース)

区分	夜間 主	授業科目	単 位 数	ク ラ ス 履 修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単 位 数		
必 修 科 目		離散数学第一	2		I	離散数学	2	3	
		離散数学第一演習	1		I	情報・通信演習1	1	3	
		プログラミング演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		応用数学	2		I	応用数学	2	3	
		電磁気学第一	2		I	基礎電磁気学	2	4	
		電磁気学第一演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		回路・システム学第一	2		I	基礎電気回路	2	4	
		アルゴリズム基礎論	2		I	アルゴリズム論第一	2	5	
		アルゴリズム基礎論演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		電磁気学第二	2		I	解析電磁気学	2	5	
		電磁気学第二演習	1		I	解析電磁気学演習	1	5	
		回路・システム学第二	2		I	回路システム学	2	5	
		論理回路学	2		I	論理回路学	2	5	
		論理回路学演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		情報通信と符号化	2		I	情報通信と符号化	2	4	
		回路・システム学第三	2		I	伝送回路論	2	6	
		情報通信工学実験A	3		I	情報通信システム実験第一	3	5	
	情報通信工学実験B	3		I	情報通信システム実験第二AB	3	6	実験第二A及び実験第二Bの2科目を受講すること。	
選 択 科 目		基礎セミナー	2		共通	電気通信大学概論	2	1	
		関数論	2		I	複素関数論	2	3	
		離散数学第二	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		基礎電子工学	2		I	基礎電子工学	2	4	
		確率論	2		新J	確率論	2	3	
		統計数学	2		新J	統計学	2	4	
		情報理論	2		I	情報理論	2	5	
		数値計算	2		I	数値計算	2	4	
		アルゴリズム・データ構造	2		新J	アルゴリズム論	2	5	
		アルゴリズム・データ構造演習	1		新J	プログラミング演習	1	4	
		信号処理論	2		I	信号処理論	2	5	
		電子回路学	2		I	電子回路学	2	6	
		制御工学	2		新M	基礎制御工学および演習	3	5	
		量子と情報	2		I	量子力学	2	4	
		線形システム理論	2		I	線形システム理論	2	6	
		符号理論	2		I	符号理論	2	6	
		# 暗号理論	2		J	暗号理論	2	6	
	# 数理計画	2		I	数理計画法	2	6		
	# 計算機言語演習	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	計算機工学	2		新J	計算機工学	2	4		

C.4 学科専門科目

C.4.1 情報通信工学科(昼間コース)

区分	夜間 主	授業科目	単 位 数	ク ラ ス 履 修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単 位 数		
選 択 科 目		電磁波工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		計測工学	2		I	計測工学	2	6	
		通信システム	2		I	通信システム学	2	6	
	#	音声・音響工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	画像処理工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	計算機システム	2		新J	計算機アーキテクチャー	2	5	
		センシング・信号処理演習	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		○宇宙通信工学	2		I	宇宙通信工学	2	5・6	通年科目
		※基礎数学演習第一	1		I	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		I	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		I	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		I	※基礎物理学演習第二	1	2	
	自 由 科 目		情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5
#		知的財産権管理	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		応用幾何学	2		共通	応用幾何学	2	5	
#		キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
#		キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
- 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。
- 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
- 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.2 情報工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
必修科目		離散数学	2		I	離散数学	2	3	
		プログラミング通論	2		I	プログラミング通論	2	4	
		計算機通論	2		I	計算機通論	2	3	
		論理設計学	2		I	論理設計学	2	5	
		複素数学	2		I	複素関数論	2	3	
		情報工学演習第一	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		情報工学演習第二	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		データ構造論	2		I	アルゴリズム論第一	2	5	
		数値計算第一	2		I	数値計算	2	4	
		オペレーティングシステム論	2		I	オペレーティングシステム論	2	6	
		情報工学実験第一	4		I	コンピュータサイエンス実験第一	4	5	
		情報工学実験第二A	2		I	コンピュータサイエンス実験第二A	2	6	
	情報工学実験第二B	2		I	コンピュータサイエンス実験第二B	2	6		
選択科目		基礎セミナー	2		共通	電気通信大学概論	2	1	
		数理解析第一	2		I	数理解析	2	6	
		オートマトン理論	2		I	オートマトン理論	2	5	
		コンピュータ設計論	2		I	コンピュータ設計論	2	6	
		数理解析第二	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	#	プログラム言語論	2		I	プログラム言語論	2	5	
	#	言語処理系論	2		I	言語処理系論	2	5	
	#	アルゴリズム論	2		I	アルゴリズム論第二	2	6	
	#	形式言語理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	ヒューマンインタフェース	2		I	ヒューマンインタフェース	2	5	
		数値計算第二	2		I	ハイパフォーマンスコンピューティング第一	2	6	
	#	計算理工学第一	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
#	数値解析	2		I	数値解析	2	5		
#	最適化理論	2		I	数値計画法	2	6		
#	応用解析	2		I	応用数学	2	3		
#	自然言語処理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
#	データベース論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
#	計算理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
#	ソフトウェア工学	2		I	ソフトウェア工学	2	6		
#	計算理工学第二	2		I	シミュレーション理工学第一	2	6		
#	有限要素法	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
#	統計数学	2		I	統計数学	2	6		
#	ベンチャービジネス概論	2		共通	ベンチャービジネス概論	2	5		
#	知的財産権管理	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	

C.4 学科専門科目

C.4.2 情報工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名 単位数			
選択科目		※基礎数学演習第一	1		I	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		I	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		I	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		I	※基礎物理学演習第二	1	2	
自由科目		情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		応用幾何学	2		共通	応用幾何学	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目		電子工学基礎セミナー	2	●				1	再履修クラスを受講のこと。
		電気数学第一	2		新M	工学解析および演習	3	4	金曜3時限を受講すること。
		電気数学第一演習	1		新M	工学解析および演習	3	4	金曜4時限を受講すること。
		電気数学第二	2		S	応用数学	2	5	一色先生の授業を受講すること。
		電磁気学第一	2		S	電磁気学第一	2	3	
		電磁気学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		電磁気学第二	2		S	電磁気学第二	2	4	
		電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		電気回路第一	2		新M	電気回路および演習	3	3	火曜3時限を受講すること。
		電気回路第一演習	1		新M	電気回路および演習	3	3	火曜4時限を受講すること。
		電気回路第二	2		I	回路システム学	2	5	
		電気回路第二演習	1		I	回路システム学演習	1	5	
		電子回路	2		新M	電子回路および演習	3	5	新M電子回路および演習(2クラス開講)は、担当教員により履修方法が異なるため掲示で確認すること。
		電子回路演習	1		新M	電子回路および演習	3	5	
		デジタル回路	2		I	論理回路学	2	5	
		基礎電子デバイス	2		I	基礎電子工学	2	4	
		電子工学実験第一	3	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		電子工学実験第二	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	電子工学実験第三	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
選択科目		確率統計学	2		I	確率統計	2	3	
		コンピュータシステム	2		I	コンピュータ設計論	2	6	
		応用電子回路	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	線形システム理論	2		I	線形システム理論	2	6	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
	#	電子工学工房	2		I	電子工学工房	2	通年	1-4年次
		量子力学	2		I	量子力学	2	4	
		固体物理学	2		S	固体電子論	2	5	
		半導体工学	2		S	半導体工学	2	6	
	#	電子デバイス	2		S	電子デバイス	2	6	
	#	光電子材料学	2		S	光電子材料科学	2	6	
	#	量子エレクトロニクス	2		S	量子エレクトロニクス	2	6	
		光波工学	2		S	光波工学	2	6	
		画像工学	2		S	画像工学	2	6	
		電磁波工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	制御工学	2		新M	基礎制御工学および演習	3	5		
	計測工学	2		新M	電気電子計測	2	5		
	デジタル信号処理	2		I	信号処理論	2	5		

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(昼間コース)

区分	夜間 主	授業科目	単 位 数	ク ラ ス 再 履 修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単 位 数		
選 択 科 目	#	応用プログラミング	2		新M	プログラミング演習	2	4	
		情報理論	2		I	情報理論	2	5	
		通信工学	2		I	通信システム学	2	6	
	#	音響エレクトロニクス	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	電子システム	2		I	電子機器システム学	2	6	
		数値計算法	2		S	計算数理工学	2	6	
	#	知的財産権管理	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		○宇宙通信工学	2		I	宇宙通信工学	2	5・6	通年科目
		※基礎数学演習第一	1		I	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		I	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		I	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		I	※基礎物理学演習第二	1	2	
		※情報処理演習第一	2		I	※情報処理演習第一	2	3	
		※情報処理演習第二	2		I	※情報処理演習第二	2	4	
自 由 科 目		地学第一	2		新M、S	地学第一	2	1	
		地学第二	2		新M、S	地学第二	2	2	
		地学実験	2		新M、S	地学実験	2	5	
		生物学実験	2		新M、S	生物学実験	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物理・量子工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目		電気・電子回路学第一	2		S	基礎電気・電子回路第一	2	3	
		電気・電子回路学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	#	応用数理解析第一	2		S	工学基礎数学	2	3	
	#	解析力学	2		S	解析力学	2	5	
		熱物理学	2		S	化学熱力学	2	3	
		波動と光	2		S	波動と光	2	4	
		電磁気学第一	2		S	電磁気学第一	2	3	
		電磁気学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		電磁気学第二	2		S	電磁気学第二	2	4	
		電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		量子力学第一	2		S	量子力学第一	2	6	
	#	量子力学第一演習	1		S	量子力学第一演習	1	6	
		統計熱力学	2		S	熱・統計物理学第一	2	5	
		統計力学演習	1		S	熱・統計物理学第二	2	6	
		物性物理学第一	2		S	固体物理工学第一	2	5	
		物性物理学第二	2		S	固体物理工学第二	2	6	
		電子回路学実験	3	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		物理・量子工学実験A	3		S	応用物理工学実験第一	3	5	
		物理・量子工学実験B	3		S	応用物理工学実験第二	3	6	
		技術者倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
選択必修科目		基礎セミナー	2	/	/	/	/	/	開講せず。
		コンピュータ演習	2		S	コンピュータ演習	2	5	
	#	応用数理解析第二	2		S	応用数学	2	5	
	#	電気・電子回路学第二	2		S	基礎電気・電子回路第二	2	4	
	#	応用電磁気学	2		S	電磁波工学	2	5	
	#	量子力学第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		量子力学第二演習	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	物理実験学	2		S	計測物理実験学	2	5	
#	基礎光工学	2		S	光波工学	2	6		
選択科目		関数論	2		I	複素関数論	2	3	
	#	応用電気・電子回路学	2		S	電気回路	2	5	
	#	半導体量子工学	2		S	半導体工学	2	6	
	#	固体量子工学	2		S	固体電子論	2	5	
	#	分子分光光学	2		S	分子分光光学	2	6	
	#	生命情報学第一	2		S	神経科学	2	6	
	#	電子物性工学	2		S	光電子材料学	2	6	
		※基礎数学演習第一	1		S	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		S	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		S	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		S	※基礎物理学演習第二	1	2	
		※情報処理演習第一	2		S	※情報処理演習第一	2	3	
	※情報処理演習第二	2		S	※情報処理演習第二	2	4		

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物理・量子工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
自由科目	#	上級コンピュータ演習	1	●					開講せず。
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		地学第一	2		S	地学第一	2	1	
		地学第二	2		S	地学第二	2	2	
		地学実験	2		S	地学実験	2	5	
		生物学実験	2		S	生物学実験	2	5	
		# キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
		# キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
		# キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目
	# 知的財産権管理	2		●			6	再履修クラスを受講のこと。	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物質・生命情報工学コース

区分	夜間主	授業科目	単位数	ク再履ス修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	#	応用数理解析第一	2		S	工学基礎数学	2	3	
		電気・電子回路学第一	2		S	基礎電気・電子回路第一	2	3	
		電磁気学第一	2		S	電磁気学第一	2	3	
		物理化学	2		S	物理化学	2	5	
		基礎量子論	2		S	量子力学第一	2	6	
	#	無機物質工学	2		S	無機化学	2	5	
	#	分子分光光学	2		S	分子分光光学	2	6	
	#	移動現象論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		有機化学	2		S	有機化学	2	5	
	#	有機物質工学第一	2		S	有機物質工学	2	6	
		基礎生物学	2		S	分子生物学	2	4	
	#	生物化学	2		S	生体機能分子工学	2	5	
		物質工学演習A	1		S	生体機能システム演習第一	1	5	
		物質工学演習B	1	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		生命情報工学演習	1		S	生体機能システム演習第二	1	6	
		電子回路学実験	3	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		物質・生命情報工学実験A	3		S	生体機能システム実験第一	3	5	
		物質・生命情報工学実験B	3		S	生体機能システム実験第二	3	6	
		技術者倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
選択必修科目		基礎セミナー	2						開講せず。
		熱物理学	2		S	化学熱力学	2	3	
		電気・電子回路学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		コンピュータ演習	2		S	コンピュータ演習	2	5	
		波動と光	2		S	波動と光	2	4	
	#	電子物性工学	2		S	光電子材料科学	2	6	
	#	有機物質工学第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	有機機器分析学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	細胞生物工学	2		S	細胞生物工学	2	5	
	#	量子化学	2		S	量子化学	2	6	
選択必修科目		生命情報学第一	2		S	神経科学	2	6	
	#	分子生物工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
		電磁気学第一演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	#	電気・電子回路学第二	2		S	基礎電気・電子回路第二	2	4	
	#	応用電気・電子回路学	2		S	電気回路	2	5	
	#	高分子材料科学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	#	生命情報学第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		※基礎数学演習第一	1		S	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		S	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		S	※基礎物理学演習第一	1	1	
	※基礎物理学演習第二	1		S	※基礎物理学演習第二	1	2		
	※情報処理演習第一	2		S	※情報処理演習第一	2	3		
	※情報処理演習第二	2		S	※情報処理演習第二	2	4		

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(昼間コース)

物質・生命情報工学コース

区分	夜間 主	授 業 科 目	単 位 数	ク再 ラ履 ス修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備 考	
					開講学科	新学科科目名			単 位 数
自由 科 目	#	上級コンピュータ演習	1	△	△	△	△	開講せず。	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		地学第一	2		S	地学第一	2	1	
		地学第二	2		S	地学第二	2	2	
		地学実験	2		S	地学実験	2	5	
		生物学実験	2		S	生物学実験	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目
	#	知的財産権管理	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	ク再履ス修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目		知能機械基礎実験A	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
		知能機械基礎実験B	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		知能機械工学実験A	2		新M	知能機械工学基礎実験Ⅰ	2	5	
		知能機械工学実験B	2		新M	知能機械工学基礎実験Ⅱ	2	6	
		マシンデザイン基礎	2		新M	メカノデザイン	2	4	
		マシンデザイン演習第一	2		新M	マシンデザインⅠ	2	5	
		マシンデザイン演習第二	2		新M	マシンデザインⅡ	2	6	
	#	技術者倫理	2		共通	技術者倫理	2	6	
選択必修科目		材料力学第一および演習	3		新M	材料力学および演習	3	4	
		材料工学第一	2		新M	材料工学	2	6	
		機械力学および演習	3		新M	機械力学および演習	3	4	
		機構要素設計	2		新M	機構要素設計	2	5	
		熱力学および演習	3		新M	熱力学および演習	3	5	
		流体力学および演習	3		新M	流体力学および演習	3	6	
		加工学Aおよび演習	3		新M	加工学および演習	3	5	
		工学解析および演習	3		新M	工学解析および演習	3	4	
	制御工学および演習	3		新M	基礎制御工学および演習	3	5		
	基礎ロボット工学および演習	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
選択科目	#	知能機械工学基礎セミナー	2		共通	電気通信大学概論	2	1	
		メカトロニクス基礎	2		新M	メカトロニクス	2	3	
	#	材料力学第二	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。
		上級プログラミング	2		新M	プログラミング演習	2	4	
	#	材料工学第二	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	#	熱工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	#	流体工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
		加工学B	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	機械設計工学	2		新M	設計基礎工学	2	5	
	#	コンピュータ工学	2		新M	計算機工学	2	4	
	#	計測工学	2		新M	計測工学概論	2	4	
	#	生産システム工学	2		新M	生産システム工学	2	6	
	#	現代制御工学	2		新M	現代制御工学	2	6	
	#	知能ロボット工学	2		新M	知能ロボット工学	2	6	
		数値計算プログラミング	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		電気・電子回路学	2		新M	電子回路および演習	3	5	
	#	メカトロニクス応用	2		新M	メカトロニクス応用	2	6	
	#	航空宇宙工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		数値解析	2		新M	数値解析	2	3	
		関数論	2		新M	応用数学	2	3	
	統計数学	2		新M	確率統計	2	3		
	技術英語	2		新M	Technical English - Basic English for Science	2	5		

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
選択科目		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
		※基礎数学演習第一	1		新M	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		新M	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		新M	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		新M	※基礎物理学演習第二	1	2	
		※情報処理演習第一	2		新M	※情報処理演習第一	2	3	
		※情報処理演習第二	2		新M	※情報処理演習第二	2	4	
自由科目	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	
	#	知的財産権管理	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

C.4 学科専門科目

C.4.6 システム工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			備考		
					開講学科	新学科科目名	単位数			
必修科目		情報リテラシー	1	●			3	再履修クラスを受講のこと。		
		情報リテラシー演習	1	●			3	再履修クラスを受講のこと。		
		システム工学実験第一	3	●			5	再履修クラスを受講のこと。		
		システム工学実験第二	3	●			6	再履修クラスを受講のこと。		
選択必修科目		基礎セミナー	2					開講せず。		
		システム数理A	2		新J	応用数学	2	3		
		システム数理B	2		新J	離散数学	2	3		
		確率統計学第一	2		新J	確率論	2	3		
	#	確率統計学第二	2		新J	統計学	2	4		
	#	経営システム工学基礎A	2	●				2	再履修クラスを受講のこと。	
	#	経営システム工学基礎B	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。	
		オペレーションズリサーチA	2		新J	オペレーションズ・リサーチ基礎	2	4		
		オペレーションズリサーチB	2		新J	オペレーションズ・リサーチ	2	5		
		電気回路学	2		I	回路システム学	2	5		
		アルゴリズムとデータ構造	2		新J	アルゴリズムとデータ構造 並びに同演習	3	3		
		コンピュータ工学第一	2		新J	論理回路	2	4		
	#	システム理論	2		新M	基礎制御工学および演習	3	5		
		情報通信システム	2		新J	情報通信システム	2	5		
	選択必修科目	#	システム工学概論	2		新J	総合情報学基礎	2	4	
			電子回路学	2		I	電子回路学	2	6	
#		会計情報システム	2		新J	経済性工学	2	5		
#		ヒューマンインタフェース	2		新J	人間工学	2	5		
		制御工学	2		新J	応用数学	2	3		
#		行動科学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
#		信号処理論	2		I	信号処理論	2	5		
#		システム・マネジメント	2		新J	経営情報学特別講義	2	5		
#		生産管理	2		新J	生産管理	2	5		
#		多変量解析	2		新J	多変量解析	2	6		
		応用代数学	2		共通	応用代数学	2	6		
		応用幾何学	2		共通	応用幾何学	2	5		
#		品質管理第一	2		新J	品質管理	2	5		
#		品質管理第二	2		国際科目	Quality and Reliability Engineering : The Japanese Way	2	6		
		システム工学	2		新M	現代制御工学	2	6		
		コンピュータ工学第二	2		新J	認知工学	2	6		
#	信頼性・安全性工学	2		新J	信頼性工学	2	6			
#	生体システム計測	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。		
#	金融情報システム	2		新J	金融工学	2	6			
#	経営情報システム	2		新J	データベース論	2	5			
	心理システム計測	2		新J	心理情報学	2	6			
	ソフトウェア工学	2		新J	ソフトウェア工学	2	6			

C.4 学科専門科目

C.4.6 システム工学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			備考	
					開講学科	新学科科目名	単位数		
選択科目	#	データマイニング	2		新J	アルゴリズム論	2	5	
		○認知科学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	ベンチャービジネス概論	2		共通	ベンチャービジネス概論	2	5	
	#	知的財産権管理	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		※基礎数学演習第一	1		新J	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		新J	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		新J	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		新J	※基礎物理学演習第二	1	2	
自由科目		情報社会論	2		新J	社会情報論	2	5	
		映像論	2		新J	メディア論	2	6	
		メディアアート	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
		海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

平成24年度 電気通信学部 読替科目等対応表(昼間コース) [平成24年9月24日]

C.4 学科専門科目

C.4.7 人間コミュニケーション学科(昼間コース)

区分	夜間主	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
					開講学科	新学科科目名			
選択科目		ソフトウェア工学	2		新J	ソフトウェア工学	2	6	
	#	メディア分析法	2		新J	メディア分析法	2	5	
	#	身体文化コミュニケーション論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	#	映像論	2		新J	メディア論	2	6	
	#	メディアアート	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
		※基礎数学演習第一	1		新J	※基礎数学演習第一	1	1	
		※基礎数学演習第二	1		新J	※基礎数学演習第二	1	2	
		※基礎物理学演習第一	1		新J	※基礎物理学演習第一	1	1	
		※基礎物理学演習第二	1		新J	※基礎物理学演習第二	1	2	
		インターンシップ	2		共通	インターンシップ	2	5	
	海外インターンシップ	2		共通	インターンシップ(海外)	2	5		
自由科目		画像工学	2		S	画像工学	2	6	
		データ構造論	2		I	アルゴリズム論第一	2	5	
		経営情報システム	2		新J	データベース論	2	5	
	#	キャリアデザインA	2		共通	キャリアデザイン1	2	3	
	#	キャリアデザインB	2		共通	キャリアデザイン2	2	4	
	#	キャリアデザインC	2		共通	エンジニアリングデザイン	3	5・6	通年科目

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。
 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

平成24年度

電気通信学部 読替科目等対応表
(夜間主コース)

平成24年4月

(改訂版)

総合文化科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考		
					開講学科	新学科科目名	単位数				
人文・社会科学科目	哲学	2	○		共通	哲学	2				
	倫理学	2	○			倫理学	2	2			
	心理学	2	○			心理学	2				
	歴史学	2	○			歴史学	2	1			
	科学史	2	○			科学史	2				
	文学	2	○			文学	2	2			
	美術	2	○			美術	2	1			
	音楽	2	○			音楽	2	1			
	経済学	2	○			経済学	2	1			
	社会学	2	○			社会学	2	1			
	法学	2	○			法学	2	1			
	政治学	2	○			政治学	2				
	地理学	2	○			地理学	2	1			
	社会思想史	2	○			社会思想史	2				
	文化人類学	2	○			文化人類学	2	2			
言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1	◎		共通	Academic Written English I	1	1			
	Academic Spoken English I	1	◎			Academic Spoken English I	1	1			
	Academic Written English II	1	◎			Academic Written English II	1	2			
	Academic Spoken English II	1	◎			Academic Spoken English II	1	2			
	言語文化応用科目I	Academic English for the Second Year I	1	◎		共通	Academic English for the Second Year I	1		3	
		Academic English for the Second Year II	1	◎			Academic English for the Second Year II	1		4	
	言語文化基礎科目II	独語第一	1	○	●					1	再履修クラスを受講のこと。
		独語第二	1	○	●					2	
		仏語第一	1	○	●					1	
		仏語第二	1	○	●					2	
		露語第一	1	○	●					1	
		露語第二	1	○	●					2	
中国語第一		1	○	●				1			
中国語第二		1	○	●				2			
韓国朝鮮語第一		1	○	●				1			
韓国朝鮮語第二		1	○	●				2			
言語文化演習科目	英語演習	2		●				3又は4	再履修クラスを受講のこと。		
	独語演習	2		●				3			
	独語運用演習	2		●				4			
	仏語演習	2		●				3			
	仏語運用演習	2		●				4			
	露語演習	2		●				3			
	露語運用演習	2		●				4			
	中国語演習	2		●				3			
	中国語運用演習	2		●				4			
	韓国朝鮮語演習	2		●				3			
	韓国朝鮮語運用演習	2		●				4			
	国際文化演習	2		●				4			
言語表現演習	2		●				3				

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

総合文化科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修 選択 の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
					開講学科	新学科学目名	単位数			
健康・スポーツ 科学科目	健康・体力づくり実習	1	◎	●				1,2	夜間主コース再履修クラスでの履修又は情報理工学部昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。	
					昼間コース	健康・体力づくり実習	1	1,2		
	健康論	1	◎	●				2		
						昼間コース	健康論	1		2
	生涯スポーツ演習A	1	○			昼間コース	生涯スポーツ演習A	1		3
	生涯スポーツ演習B	1	○			昼間コース	生涯スポーツ演習B	1		4
	生涯スポーツ演習C	1	○		●			夏季集中		再履修クラスを受講のこと。
生涯スポーツ演習D	1	○		●			冬季集中	再履修クラスを受講のこと。		
理工系教養科目	宇宙・地球科学	2	○		K	宇宙・地球科学	2	4		
	生物学	2	○	●				1	夜間主コース再履修クラスでの履修又は情報理工学部昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。	
					昼間コース	生物学	2	2		
	現代物理学	2	○			K	基礎物理学第三	2	3	
	物質とエネルギー	2	○	●				2,4	夜間主コース再履修クラスでの履修又は昼間コース電気通信学部の読替科目での履修のいずれかを選択すること。	
					昼間コース	【電気通信学部科目】(同学部時間制参照) 化学平衡論	2	2		
物質化学	2	○			K	環境科学	2	4	夜間主コース読替科目での履修又は昼間コース読替科目での履修のいずれかを選択すること。	
				昼間コース	材料化学	2	2			

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S
夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

専門基礎科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
専門基礎科目	微分積分学第一	2	(必修・選択の別は学科により異なるので、学修要覧を参照のこと。)		K	基礎微分積分学第一	2	1	
	微分積分学第二	2			K	基礎微分積分学第二	2	2	
	線形代数学第一	2			K	ベクトルと行列第一	2	1	
	線形代数学第二	2			K	ベクトルと行列第二	2	2	
	解析学	2			K	基礎解析学	2	3	
	力学第一	2			K	基礎物理学第一	2	1	
	力学第二	2		●				2	再履修クラスを受講のこと。
	基礎科学実験A	2		●				1	履修方法は、物理教室の指示に従うこと。
	基礎科学実験B	2		●				2	夜間主コース再履修クラスでの履修又は情報理工学部昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。
					昼間コース	基礎科学実験B	2	1又は2	履修方法・履修学期は、化学教室の指示に従うこと。
	コンピュータリテラシー	2			K又は昼間コース	コンピュータリテラシー	2	1	夜間主コースでの履修又は昼間コースでの履修のいずれかを選択すること。
	基礎プログラミングおよび演習	2			K	基礎プログラミングおよび演習	2	2	
	工学基礎演習第一	1		●				1	再履修クラスを受講のこと。
	工学基礎演習第二	1		●				(※1)、2	再履修クラスを受講のこと。 ※旧1学科のみ1学期に開講する。
	熱物理学	2			K	基礎物理学第二	2	2	
	波動と光	2			K	現代物理学概論	2	5	
	化学結合と構造	2			K	化学結合と構造	2	1	
	※物理学入門第一	2							開講せず。
※物理学入門第二	2						開講せず。		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

専門共通科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修選択の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
専門共通科目	応用解析A	2	(必修・選択の別は学科により異なるので、学修要覧を参照のこと。)		K	応用数学A	2	3	
	応用解析B	2			K	応用数学B	2	4	
	関数論	2		●				3	再履修クラスを受講のこと。
	確率統計	2			K	確率統計	2	4	
	数理解析	2		●				4	再履修クラスを受講のこと。
	電磁気学第一	2			K	電磁気学および演習	3	3	火曜6時限(イ)コース又は土曜3時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	電磁気学第二	2		●				4	再履修クラスを受講のこと。
	電磁気学	2			K	電磁気学および演習	3	3	火曜6時限(イ)コース又は土曜3時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	アルゴリズムとデータ構造	2			K	アルゴリズム・データ構造 および演習	2	6	
	計算機工学	2			K	計算機工学	2	4	
	論理回路	2			K	論理回路学	2	3	
	情報理論	2			K	情報通信と符号化	2	5	
	基礎電子工学	2			K	基礎電子工学	2	5	
	電気回路学第一	2			K	電気回路学および演習	3	4	火曜6時限(イ)コース又は土曜3時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	電気回路学第二	2			K	回路システム学	2	5	K回路システム学(5学期)、 またはI科回路システム学 (5学期)を受講すること。 ※演習も受講する場合は、 なるべくI科回路システム学 を受講すること。
					I	回路システム学	2	5	
電気・電子回路学	2		K	電気回路学および演習	3	4	火曜6時限(イ)コース又は土曜3時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。		

専門共通科目(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	必修 選択 の別	再履 修 ク ラ ス	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備 考
					開講学科	新学科科目名	単位数		
専門共通 科目	制御工学	2			K	制御工学	2	5	
	メカトロニクス	2			K	メカトロニクス	2	6	
	知的財産権概論	2		●				5	再履修クラスを受講のこと。

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.1 情報通信工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
				開講学科	新学科科目名	単位数			
必修科目	離散数学第一	2		K	離散数学	2	5		
	離散数学第一演習	1	●				1	再履修クラスを受講のこと。	
	電磁気学第一演習	1		K	電磁気学および演習	3	3	火曜7時限(イ)コース又は土曜4時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。	
	電気回路学第一演習	1		K	電気回路学および演習	3	4	火曜7時限(イ)コース又は土曜4時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。	
	プログラミング演習	1		K	プログラミング通論および演習	2	3		
	電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
	電気回路学第二演習	1	●				3	再履修クラス(3学期)又は回路システム学演習を受講すること。 ※なるべく回路システム学演習を受講すること。	
					I	回路システム学演習	1	5	
	アルゴリズム基礎論	2	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
	アルゴリズム基礎論演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
	論理回路学演習	1	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	情報通信工学実験A	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	情報通信工学実験B	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	選択科目	離散数学第二	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
信号処理論		2		K	信号処理論	2	5		
電子回路学		2		K	電子回路学	2	6		
線形システム理論		2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
情報理論第二		2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
計測工学		2		K	計測工学	2	6		
通信システム		2		K	通信・ネットワーク	2	6		
科目自由	応用幾何学	2		K	応用幾何学	2	4		

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S
夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.2 情報工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	離散数学	2		K	離散数学	2	5	
	計算機通論	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	プログラミング通論	2		K	プログラミング通論および演習	2	3	
	情報工学演習第一	2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学演習第二	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学実験第一	4	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	情報工学実験第二	4	●				6	再履修クラスを受講のこと。
選択科目	数理解析第二	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	オペレーティングシステム論	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	オートマトン理論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	★言語処理系論	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	コンピュータ設計論	2		K	計算機工学	2	4	
	★数値計算	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
科自由	応用幾何学	2		K	応用幾何学	2	4	

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	電子工学基礎セミナー	2		K	総合コミュニケーション科学	2	4	
	電気数学演習	1	●				3	再履修クラス(3学期)、またはS応用数学(5学期)を受講すること。
				S	応用数学	2	5	
	電磁気学第一演習	1		K	電磁気学および演習	3	3	火曜7時限(I)コース又は土曜4時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	電磁気学第二演習	1	●				4	再履修クラスを受講のこと。
	電気回路第一演習	1		K	電気回路学および演習	3	4	火曜7時限(I)コース又は土曜4時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
			●					
	電気回路第二演習	1		I	回路システム学演習	1	5	再履修クラス(3学期)、またはI回路システム学演習(5学期)を受講すること。※なるべく回路システム学演習を受講すること。
			●					
	電子回路	2		K	電子回路学	2	6	K電子回路学、または新M電子回路学および演習を受講すること。新M電子回路および演習(2クラス開講)は、担当教員により履修方法が異なるため掲示で確認すること。
				新M	電子回路および演習	3	5	
	電子回路演習	1	●					再履修クラス(6学期)、または新M電子回路および演習(5学期)を受講すること。新M電子回路および演習(2クラス開講)は、担当教員により履修方法が異なるため掲示で確認すること。
				新M	電子回路および演習	3	5	
デジタル回路演習	1	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
電子工学実験第一	3	●				4	再履修クラスを受講のこと。	
電子工学実験第二	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
電子工学実験第三	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
選択科目	応用電子回路	2	●				6	再履修クラス(6学期)、または昼・E応用電子回路(6学期)を受講すること。
				昼E	(電気通信学部)応用電子回路	2	6	
	量子力学	2	●				5	再履修クラス(5学期)、またはS基礎量子工学(5学期)を受講すること。
				S	基礎量子工学	2	5	
固体物理学	2	●				5	再履修クラス(5学期)、またはS固体電子論(5学期)を受講すること。	
			S	固体電子論	2	5		
半導体工学	2	●				5	再履修クラス(5学期)、またはS半導体工学(6学期)を受講すること。	
			S	半導体工学	2	6		

C.4 学科専門科目

C.4.3 電子工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
選択科目	光波工学	2	●				6	再履修クラス(6学期)、またはS光波工学(6学期)を受講すること。
				S	光波工学	2	6	
	計測工学	2		K	計測工学	2	6	
	画像工学	2	●				6	再履修クラス(6学期)、またはS画像工学(6学期)を受講すること。
				S	画像工学	2	6	
	電磁波工学	2		K	電磁波工学	2	6	
通信工学	2		K	通信・ネットワーク	2	6		
デジタル信号処理	2		K	信号処理論	2	5		
自由科目	地学第一	2	●				1	再履修クラスを受講のこと。
	地学第二	2	●				2	再履修クラスを受講のこと。
	地学実験	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	生物学実験	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.4 量子・物質工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)		開講学期	備考	
				開講学科	新学科科目名			
必修	電気・電子回路学演習	1		K	電気回路学および演習	3	4	火曜7時限(イ)コース又は土曜4時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
	電磁気学演習	1		K	電磁気学および演習	3	3	火曜7時限(イ)コース又は土曜4時限(社)コースを受講すること。 ※講義と演習を両方履修する場合は、同じコースで受講しなければならない。
科目	量子力学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	統計熱力学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	物性物理学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	物質生命情報工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	量子物理工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	材料物質科学A	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	材料物質科学B	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	量子・物質工学実験A	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	量子・物質工学実験B	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	選択科目	コンピュータ応用	2		K	プログラミング通論および演習	2	3
基礎生物学		2	●				3	再履修クラスを受講のこと。
半導体工学		2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
光エレクトロニクス		2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
生命情報科学		2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
量子エレクトロニクス		2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
自由科目	地学第一	2	●				1	再履修クラスを受講のこと。
	地学第二	2	●				2	再履修クラスを受講のこと。
	地学実験	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	生物学実験	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S

夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履ス修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
				開講学科	新学教科目名	単位数			
必修科目	マシンデザイン基礎	2	●				4	再履修クラス(4学期)、または新Mメカノデザイン(4学期)を受講すること。	
				新M	メカノデザイン(再履のみ)	2	4		
	マシンデザイン演習	2	●				5	再履修クラス(5学期)、または新Mマシンデザイン I (5学期)を受講すること。	
			新M	マシンデザイン I (再履のみ)	2	5			
	知能機械基礎実験	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
選択必修科目	材料力学	2	●				3	再履修クラス(3学期)、または新M材料力学および演習(4学期)を受講すること。	
				新M	材料力学および演習(再履のみ)	3	4		
	機械力学	2	●				3	再履修クラス(3学期)、または新M機械力学および演習(4学期)を受講すること。	
				新M	機械力学および演習(再履のみ)	3	4		
	材料科学	2	●				3	再履修クラス(3学期)、または新M材料工学(6学期)を受講すること。	
				新M	材料工学(再履のみ)	2	6		
		エネルギー変換工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	流体力学	2	●				4	再履修クラス(4学期)、または新M流体力学および演習(6学期)を受講すること。	
				新M	流体力学および演習(再履のみ)	3	6		
	機構要素設計	2	●				5	再履修クラス(5学期)、または新M機構要素設計(5学期)を受講すること。	
			新M	機構要素設計(再履のみ)	2	5			
加工学	2	●				5	再履修クラス(5学期)、または新M加工学および演習(5学期)を受講すること。		
			新M	加工学および演習(再履のみ)	3	5			
	基礎ロボット工学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
選択必修科目	メディアデザイン	2		新J	メディア論	2	6		
	ヒューマンインタフェース	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	システムマネジメント	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
	流体力学	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	機械設計工学	2		K	設計工学	2	5		
	生産システム工学	2	●				6	再履修クラス(6学期)、または新M生産システム工学(6学期)を受講すること。	
				新M	生産システム工学(再履のみ)	2	6		
メカトロニクス応用	2	●				6	再履修クラス(6学期)、または新Mメカトロニクス応用(6学期)を受講すること。		
			新M	メカトロニクス応用(再履のみ)	2	6			

C.4 学科専門科目

C.4.5 知能機械工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
選択科目	品質・信頼性工学	2		K	組み込みシステム	2	5	
	情報システム学概論	2	/	/	/	/	/	開講せず。
	システム工学	2		K	制御工学	2	5	
	リサイクル工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	科学技術史	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	コミュニケーション論	2			新J	コミュニケーション論	2	5

注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。

昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S
夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.6 システム工学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考	
				開講学科	新学科科目名	単位数			
必修科目	情報リテラシー	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。	
	システム工学実験第一	3	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	システム工学実験第二	3	●				6	再履修クラスを受講のこと。	
選択科目	情報リテラシー演習	1	●				3	再履修クラスを受講のこと。	
	オペレーションズリサーチおよび演習A	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	オペレーションズリサーチおよび演習B	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。	
	経営システム工学基礎および演習	2			K	総合コミュニケーション科学	2	4	
	システム工学	2			K	制御工学	2	5	
	ヒューマンインタフェース	2	●					6	再履修クラスを受講のこと。
	行動科学	2	●					6	(10/15変更) 読替指定をとりやめ、再履修クラスを開講する。 履修方法は掲示で確認してください。
	信号処理論	2			K	信号処理論	2	5	
	システム・マネジメント	2	●					6	再履修クラスを受講のこと。
	経営経済システム工学	2	●					6	再履修クラスを受講のこと。
	品質・信頼性工学	2			K	組み込みシステム	2	5	
	ソフトウェア工学	2			K	設計工学	2	5	
	リサイクル工学	2	●					6	再履修クラスを受講のこと。
	認知科学	2	●					6	再履修クラスを受講のこと。
	メディアデザイン	2			新J	メディア論	2	6	
	コミュニケーションネットワーク	2			新J	コンピュータネットワーク	2	5	
科目自由	応用代数学	2			K	応用代数学	2	4	
	応用幾何学	2			K	応用幾何学	2	4	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。
 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース

C.4 学科専門科目

C.4.7 人間コミュニケーション学科(夜間主コース)

区分	授業科目	単位数	再履ス修	読替科目(情報理工学部)			開講学期	備考
				開講学科	新学科科目名	単位数		
必修科目	人間コミュニケーション学基礎セミナー	2		昼間コース 共通	電気通信大学概論	2	1	
	人間コミュニケーション学実験	4	●				5・6	再履修クラスを受講のこと。
選択科目	メディアリテラシー	2		新J	メディアリテラシー	2	5	
	メディアデザイン	2		新J	メディア論	2	6	
	Basic Spoken English	2						開講せず。
	Spoken English	2						開講せず。
	コミュニケーション論	2		新J	コミュニケーション論	2	5	
	基礎情報学	2						開講せず。
	コミュニケーションネットワーク	2		新J	コンピュータネットワーク	2	5	
	社会調査法	2		新J	マーケティング科学	2	6	
	科学技術史	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	リサイクル工学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	認知科学	2	●				6	再履修クラスを受講のこと。
	ソフトウェア工学	2		K	設計工学	2	5	
	システム工学	2		K	制御工学	2	5	
品質・信頼性工学	2		K	組み込みシステム	2	5		
自由科目	オペレーションズリサーチおよび演習A	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	オペレーションズリサーチおよび演習B	2	●				5	再履修クラスを受講のこと。
	応用幾何学	2		K	応用幾何学	2	4	

- 注1. ●印科目は、再履修クラスを開講する。電気通信学部の時間割を参照のこと。
 注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学部科目に読み替える。読替科目については、情報理工学部の開講学科の時間割を参照のこと。
 注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。
 注4. 情報理工学部の各学科の略称は、下記のとおり。昼間コース総合情報学科と(新)知能機械工学科については、旧学科と区別するため「新J」「新M」と表記している。
 昼間コース 総合情報学科:新J 情報・通信工学科:I 知能機械工学科:新M 先進理工学科:S
 夜間主コース 先端工学基礎課程:K 社会人コース:(社)コース インターンシップコース:(イ)コース